

# 平成23年度後期 授業改善アンケート 質問項目

|                                      | no. | 設 問                                 | ① ←→ ⑤                |
|--------------------------------------|-----|-------------------------------------|-----------------------|
| 学<br>生                               | 1   | シラバスで授業内容を確認しましたか                   | 確認しなかった ～ 十分確認した      |
|                                      | 2   | 教室では授業に積極的に取り組みましたか                 | 取り組まなかった ～ 取り組んだ      |
|                                      | 3   | あなたの出席状況を評価してください                   | 良くない ～ 良好             |
|                                      | 4   | 授業外で学習(レポートや課題を含む)をしましたか            | しなかった ～ 十分した          |
| 授<br>業<br>内<br>容<br>教<br>え<br>方<br>等 | 5   | 授業はシラバスに沿って行われましたか                  | シラバスと異なる ～ シラバスに沿っていた |
|                                      | 6   | 授業内容を理解できましたか                       | 理解できなかった ～ 十分理解できた    |
|                                      | 7   | 説明が明快でしたか                           | 分かりにくい ～ 明快           |
|                                      | 8   | 話は良く聞き取れましたか                        | 聞き取りにくい ～ 聞き取れた       |
|                                      | 9   | 板書、OHP・PowerPoint等は授業を理解する上で効果的でしたか | 改善して欲しい ～ 効果的         |
|                                      | 10  | 配布資料、教材等が効果的でしたか                    | 改善して欲しい ～ 効果的         |
| 環<br>境<br>・<br>設<br>備<br>等           | 11  | 学習環境(人数、部屋の広さ等)は良好でしたか              | 良好でない ～ 良好            |
|                                      | 12  | 参考書等が図書館に揃っていますか                    | 不足 ～ 揃っている            |

## 1. 概評

すべての項目について、全学平均を上回っており、良好と言える。特に no.1(シラバスの内容確認)は全学平均を0.3ポイント上回っている。これは、no.4(授業外での自主的な学習)の数値の高さと相関する。シラバスで準備学習を確認しつつ、事前学習を行っていると考えられるからである。この点については、より一層の向上を望む。

一方で、一部の科目に低い数値が認められる。早急にその原因を特定し、対応策を講じる必要がある。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価(全般的な評価、上手くいっただと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。)

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 0          | 24             | 85  | [学生]<br>すべての項目で前年度同期の数値を上回っている。概評でも触れたが、no.1(シラバスの内容確認)の向上は、no.2(積極的な授業への参加)、no.4(授業外での自主的な学習)、no.6(授業内容の理解)に強く結びついている(no.1の数値の低い科目と、no.6の数値の低い科目が重なる傾向にある)ので、引き続きシラバスの確認を授業内で呼びかけるよう、徹底したい。                                                                                                                        |
| 2  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 0          | 21             | 88  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 3  | 4.4      | 0        | 0          | 0              | 0          | 7              | 102 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4  | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 3          | 27             | 78  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 1          | 11             | 97  | [授業[内容]]<br>No.5(シラバスに沿った授業)の数値は、今までの中で最高値となった。行事の多い後期の授業運営がうまく運んだことを示している。<br>No.6(授業内容の理解)は学科平均の数値は前年度同期より0.2ポイント向上した。これは77.0%の科目が4≤の評価を得た(前年度同期は54.7%)ことによる。今後は、教授内容のレベルが適切かという、難易度との検証も必要になるであろう。                                                                                                               |
| 6  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 2          | 23             | 84  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 7  | 4.3      | 0        | 0          | 1              | 4          | 14             | 90  | [授業[教え方等]]<br>いずれの項目も前年度同期、今年度前期より向上している(no.9今年度のみ同数値)。今年度前期に数値の低かった科目についても底上げがなされ、4≤の科目の占める割合も増えている。<br>前年度同期との比較で、<br>no.7(説明の明快さ) +17.3%<br>no.8(話の聞き取りやすさ) +12.9%<br>no.9(板書等) +14.8%<br>no.10(配付資料・教材) +13.7% となっている。<br>ただ、no.9等に依然として数値の低い科目が見られる。これらは下級学年の科目に集中している。視覚化の進んだ高校の授業とのギャップも考慮する必要が出てきていると考えられる。 |
| 8  | 4.4      | 0        | 0          | 0              | 2          | 8              | 99  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 9  | 4.1      | 0        | 1          | 1              | 6          | 21             | 77  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 10 | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 2          | 14             | 93  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 11 | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 16             | 93  | [環境・設備等]<br>いずれも前年度同期より向上、今年度前期と同数値である。<br>No.12(参考資料)で数値の低い科目は、実技・実習系の科目であり、学科全体としては参考書の周知もかなり浸透してきていると考えられる。引き続き指導を強化して、主体的な学びの姿勢の徹底を図りたい。                                                                                                                                                                        |
| 12 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 3          | 42             | 64  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

### 3. 今後の方針

シラバスの確認と、授業外の学習、内容理解の相乗効果が明らかになったので、今後もシラバスの確認については徹底していきたい。と同時に、シラバスの準備学習の具体的記載を、いま一度各教員が確認する必要もあると考えられる。

本学科は全体的に数値が高いが、レベルの検証もしていくことが重要である。学生の質の変化など、教員同士が情報交換することが望ましい。

**1. 概評**  
 学科平均が全体平均より上回っているものが 12 項目中 4 項目 (No.4,5,6,11)、同じ数値が 7 項目 (No.1,2,7,8,9,10,12)、そして下回っているものが残り 1 項目 (No.3) であった。全体的に見ると今学期の評価は概ね良好と言えるかと思われるが、引き続き改善に努める必要のある項目も認められる。

**【学生】**  
 4 項目中 1 項目が、全体平均より上回っており、2 項目が同じ数値で、残り 1 項目 (No.3) が下回っている結果であった。ここ数回と比べると、徐々に上向きの結果となっている。但し、低い結果が続いている学生の出席に関する項目 No.3 の改善を図りたい。

**【授業【内容】】**  
 2 項目とも、全体平均より上回っている。概ね良好の評価を得ることができており、学生のニーズや期待値とうまく合ったのではないかと考えている。

**【授業【教え方】】**  
 4 項目とも平均と同じ数値であった。全て 4 ポイントは超えているが、より効果的な授業運営をめざして、教員間での更なる努力を促していきたい。

**【環境・整備等】**  
 2 項目のうち、1 項目は全体平均を上回り、もう 1 項目は全体平均と同じ数値と言うことで、概ね良好と言える。但し、参考図書に関する設問 (No.12) が比較的低い結果 (3.8) が続いているので、今後も教員への参考書籍購入の声かけ、並びに学生の図書館利用を促進させるような広報活動を更に行う必要があるかと考えている。

**2. 各項目の評価**  
 各項目の科目ごとの評価 (全般的な評価、上手くいったところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。)

| no | 学科平均 | 1 ≤<br><2 | 2 ≤<br><2.5 | 2.5 ≤<br><3 | 3 ≤<br><3.5 | 3.5 ≤<br><4 | 4 ≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                 |
|----|------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.9  | 0         | 0           | 1           | 7           | 50          | 73  | <b>【学生】</b><br>4 項目全て前年度より高い評価となっている。特に、No.2 (学生の積極性に関する質問) は 0.2 ポイント、No.4 (授業外での学習に関する質問) は 0.5 ポイントも、前年度と比較すると上昇している。この結果は、大変喜ばしいことであるが、今後も継続して、学生の積極的な参加を促していきたい。 |
| 2  | 4.1  | 0         | 0           | 0           | 3           | 34          | 94  |                                                                                                                                                                       |
| 3  | 4.2  | 0         | 0           | 0           | 0           | 19          | 112 |                                                                                                                                                                       |
| 4  | 4.1  | 0         | 0           | 0           | 2           | 33          | 96  |                                                                                                                                                                       |
| 5  | 4.1  | 0         | 0           | 1           | 4           | 26          | 100 | <b>【授業【内容】】</b><br>2 項目とも前年度より 0.1 ポイント高い評価となっている。概ね良好な結果と言える。より詳細で分かりやすいシラバス作成をめざして、学生の理解を深めていきたい。                                                                   |
| 6  | 4.1  | 0         | 0           | 2           | 10          | 28          | 91  |                                                                                                                                                                       |
| 7  | 4.1  | 0         | 1           | 4           | 9           | 20          | 97  | <b>【授業【教え方等】】</b><br>4 項目全て前年度と同じ評価となっている。全項目が 4 ポイント以上で概ね良好な結果ではあるが、全項目とも 3.5 ポイント以下の科目が 10% 前後見られるので、これらの科目を更に減少できるよう、FD 活動等を通して学科内で検討していきたい。                       |
| 8  | 4.2  | 0         | 1           | 3           | 4           | 21          | 102 |                                                                                                                                                                       |
| 9  | 4.0  | 0         | 0           | 5           | 10          | 32          | 84  |                                                                                                                                                                       |
| 10 | 4.1  | 0         | 0           | 1           | 7           | 29          | 94  |                                                                                                                                                                       |
| 11 | 4.2  | 0         | 0           | 0           | 4           | 25          | 102 | <b>【環境・設備等】</b><br>2 項目の内、No.11 (学習環境に関して) は 0.1 ポイント上昇し、No.12 (参考図書に関して) は前年度と同じポイントとなっている。この項目を改善させる為、先生方への図書館への参考書籍購入依頼や学生への図書館利用の推進を行いたい。                         |
| 12 | 3.8  | 0         | 0           | 2           | 14          | 73          | 42  |                                                                                                                                                                       |

### 3. 今後の方針

- 全体的に見ると、前年度に比べるとポイントが上がった項目が 12 項目中 7 項目 (No.1, 2, 3, 4, 5, 6, 11)あり、半分以上の項目で改善が認められた。そして、他の 5 項目 (No.7, 8, 9, 10, 12)は、前年度と同ポイントであったことを考慮すると、概ね良い結果であったかと思われる。但し、今回の全体平均と比較するとわずかではあるが下回っている項目 (No.3 と No.11)があるので、これらの項目の理由・原因を検証し、改善に取り組み、全体的な評価を向上させていきたい。
- 3 ポイント台の項目が、No.1(シラバスでの授業内容確認)と No.12(参考図書)の 2 項目あった。両項目とも、上向きの結果ではあるが、継続的に 3 ポイント台となっている。No.1 に関しては、授業開始時のオリエンテーションでの教務部委員によるガイダンスやクラスアドバイザーからの指導を通して、一層の向上を図りたい。No.12 に関しては、現在図書館にお願いして実施している図書館ガイダンスの内容を更に検討し、学生への図書館利用の意識を高める為の広報活動を実施すると共に、授業内の活動・課題に図書館利用を取り入れてもらえるように、先生方へのお願いを続けていきたい。

## 1. 概評

後期開設科目のうち、84 科目でアンケートを実施した。学科平均と全体平均を比較すると、全体平均を上回る項目が 3 (No. 3、No. 9、No. 10)、全体平均と同じである項目が 7 (No. 1、No. 2、No. 5、No. 6、No. 7、No. 8、No. 11)、やや下回る項目が 2 つ (No. 4、No. 12) であった。この結果、学生の出席率は良く、また授業は問題なく実施されている。前年度後期と比較すると、No. 2 と No. 4 でポイントが上がっており、前年度からは改善されているが、学生の自主的な学習などが弱い点があり、引き続き改善をはかりたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 7          | 33             | 44 | [学生]<br>本学科の学生は、No. 3 にみられるように、出席状況は良い。しかし、No. 4 にみられるように授業外での学習に弱い点がある。しかし、前年度後期 (No. 4 は 3.5) と比べると明らかにポイントは上がっている。改善の兆しがあり、今後も指導していきたい。この対策として、1 年生必修の歴史文化基礎で全員に課題をだし、自主的な研究をするように指導していることを継続したい。また、2 年生以上の学生に対しては、授業で課題などをあたえ、授業外での学習を進めるように、指導していく。 |
| 2  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 2          | 26             | 55 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 3  | 4.5      | 0        | 0          | 0              | 0          | 2              | 82 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 4  | 3.9      | 0        | 0          | 1              | 6          | 25             | 52 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 5  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 3          | 32             | 48 | [授業[内容]]<br>全体平均と同じである。前年度後期と比べると 1 ポイント上がっている。内容的にも問題がない。                                                                                                                                                                                               |
| 6  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 6          | 27             | 51 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7  | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 2          | 17             | 64 | [授業[教え方等]]<br>前年度後期と比べると 3 つの項目で 1 ポイント上がり、同じな項目は 3 つ、下回ったのはなかった。ただし、No. 7～No. 9 で (2.5-3) の枠内にあった科目があり、担当者に授業工夫をお願いする。                                                                                                                                  |
| 8  | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 4          | 13             | 66 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 9  | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 3          | 21             | 58 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 10 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 2          | 18             | 64 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 11 | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 2          | 18             | 63 | [環境・設備等]<br>前年度後期と同じであるが、No. 12 に関しては、全体平均よりも 1 ポイント下がった。このことに関しては、授業で必要な図書は、積極的に図書館に購入希望をだすように指導したい。                                                                                                                                                    |
| 12 | 3.7      | 1        | 1          | 1              | 10         | 46             | 24 |                                                                                                                                                                                                                                                          |

### 3. 今後の方針

本学科の学生は授業をまじめに取り組んでいる。しかし、これまで授業外の学習については、積極性に欠ける傾向があったが、アンケート結果をみると少しずつ改善している。そのため、さらに指導をしていきたい。

対策として、

- ①1 年生の必修授業(「歴文基礎」)で取り組むそれぞれのテーマについて自分で野外調査し、その調べたことを整理し、授業で報告する、というスタイルを徹底し、自主的・主体的な学習と学ぶ姿勢を養いたい。
- ②2 年生以上では、ゼミを通じた夏休みの研修旅行、昭和女子大学文化史学会への参加、学生編集の『歴マガ』を通じた活動などから自主的・主体的な学習と学ぶ姿勢を養いたい。  
また、公開授業を通して、学科全体の授業運営の改善をはかっていきたい。

## 1. 概評

12 項目中、10 項目が前回と同じ数値であった。全ての項目において今後改善が図れるよう、引き続き学科内で議論をしていきたい。出席状況の評価が低かったのは、後期になって英語に加え、アジア言語・ヨーロッパ言語の履修が始まり、週 8 時間の厳しい語学学習で学生が疲弊したのかもしれない。後期のオリエンテーションなどで、適切な履修計画を指導する必要があるといえる。また、自主学習の助けとなる語学を含む学科専門科目の参考図書を図書館で充実させたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.8      | 0        | 0          | 4              | 28         | 48             | 78  | <p>[学生]</p> <p>前期は 3 項目が 0.2～0.3 ポイント上昇したが、今学期はやや停滞気味である。</p> <p>No.1. の数値が全体平均よりも 0.1 ポイント低く、前期から改善されていない。必修科目、資格関連科目でその傾向があった。</p> <p>No.2 前期と同様の数値である。しかし、全体における数値のばらつきはなくなった。</p> <p>No.3 前期よりも 0.2 ポイント下がった。</p> <p>No.4 語学クラスのほとんどで授業外の課題が課されている。学生は特筆に値しないと考えている可能性が高いので、質問の意味をアンケート実施前に理解させる事も必要である。</p> |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 8          | 47             | 103 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 3          | 29             | 126 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 2              | 12         | 46             | 98  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 11         | 48             | 98  | <p>[授業[内容]]</p> <p>No.5 と No.6 は前期と同様の数値であり、概ね良好である。</p> <p>No.5 は No.1 のシラバスの確認した上での評価であるべきである。シラバスの確認を促す必要がある。</p>                                                                                                                                                                                             |
| 6  | 4.0      | 0        | 0          | 3              | 6          | 49             | 100 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 7  | 4.1      | 0        | 0          | 2              | 7          | 35             | 114 | <p>[授業[教え方等]]</p> <p>No.7、No.8、No.10 は前期と変化なく、全体平均と同じ数値である。授業公開などを通じて、授業担当者の理解と協力を得て、今後も授業改善への努力を続けていきたい。</p> <p>No.9 は 0.1 ポイント上昇し、全体平均よりも 0.1 ポイント高い。アンケートの設問を改善したため、設問の趣旨を学生に理解させる事ができた。</p>                                                                                                                  |
| 8  | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 4          | 33             | 120 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 9  | 4.1      | 0        | 0          | 2              | 9          | 43             | 104 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 10 | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 6          | 35             | 116 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 1          | 33             | 124 | <p>[環境・設備等]</p> <p>No.11 と No.12 は前期と同様の数値であるが、No.11 は学内平均よりも高くなっている。図書館については、この数値以上に学生の利用率が気になるところである。学生が図書館を積極的に利用するよう学科で指導していきたい。</p>                                                                                                                                                                         |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 2              | 14         | 87             | 55  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### 3. 今後の方針

1. 語学学習は授業に参加する以上に自主的に学ぶ事が学習成果を左右する。特に、留学前後の夏休み・春休みに自主的な学習を怠ると、留学で培った語学力が無きに等しくなってしまう。アルクのネットアカデミーが本格的に導入され、自主学習できる環境が整ってきた。学生に自主学習の習慣づけを呼びかけ、自主学習の方法を基礎ゼミなどでアドバイスし学生の努力を促していきたい。
2. シラバスの確認については、必修科目が多いためなかなか改善できない。今学期から、1 年生・2 年生・3 年生の必修語学授業では、自分でシラバスをプリントアウトして第 1 回目の授業にのぞむよう指導することにした。

## 1. 概評

大学全体平均と比較すると全般にやや低い値となっているが、学科としては、12 項目中 9 項目が前期と同じであり、3 項目が前期より低かった。引き続き、学生への働きかけを意識しつつ、授業の改善に取り組んでいきたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                               |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 4          | 44             | 13 | [学生]<br><br>前期とほぼ同じ値であるが、授業外の学習(問 4)は前期より値が低くなった。課題など学生の学習を促すような働きかけを心掛けていきたい。                                                      |
| 2  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 3          | 29             | 29 |                                                                                                                                     |
| 3  | 4.4      | 0        | 0          | 0              | 0          | 4              | 57 |                                                                                                                                     |
| 4  | 3.8      | 0        | 0          | 1              | 9          | 24             | 27 |                                                                                                                                     |
| 5  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 3          | 27             | 31 | [授業[内容]]<br><br>前期と同じ値であるが、大学全体よりはわずかに低い。特に必修科目において低い値となっているため、学生の学習意欲を高め、理解をうながす授業運営を心掛けていきたい。                                     |
| 6  | 3.8      | 0        | 0          | 1              | 8          | 33             | 19 |                                                                                                                                     |
| 7  | 3.9      | 0        | 0          | 2              | 2          | 33             | 24 | [授業[教え方等]]<br><br>前回とほぼ同じ値であるが、大学全体よりやや低い値となっている。授業公開での学びを参考に、引き続き、授業方法の改善への努力を続けていきたい。                                             |
| 8  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 4          | 14             | 42 |                                                                                                                                     |
| 9  | 3.8      | 0        | 0          | 1              | 7          | 29             | 24 |                                                                                                                                     |
| 10 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 3          | 35             | 23 |                                                                                                                                     |
| 11 | 3.9      | 0        | 0          | 1              | 7          | 21             | 32 | [環境・設備等]<br><br>前期と同じ値であった。部屋の広さ等の学習環境に関しては、特に選択科目において受講者数の増減があり、教室の広さとのバランスを取ることが、むずかしくなっている。図書館の蔵書への評価は大半が 3 点台と他の項目に比べ低い値となっている。 |
| 12 | 3.6      | 0        | 0          | 0              | 15         | 44             | 2  |                                                                                                                                     |

### 3. 今後の方針

- 大半が 3.5 点以上であり、概ね良好である。授業内容や教え方等に関しては、授業公開などを通して教員間の情報交換を密にし、一層の授業の質の向上を目指していきたい。  
また、科目別では選択科目に比べ必修科目では授業内容の理解に関してやや値が低くなっている。  
学生の動機付けを高めて、主体的に取り組ませるよう一層の工夫をしていきたい。
- 図書館蔵書に関しては、教員が担当授業科目における参考書籍を積極的に購入し、併せて学生への指導・広報を行うことで、学生が図書館をより活用できるよう図っていきたい。

## 1. 概評

授業に対する積極性、出席状況、授業外の学習など、学生の学習に臨む姿勢は良好である。また、教授法について、話し方・説明の明快性を含む教員のプレゼンテーション力が高く、教材・配布資料の効果的な活用なども行われていることがうかがえる結果となっている。この状況を維持・向上できるよう学科全体に FD 講演会等への参加を促していきたい。

一方、シラバスの確認は全体平均(3.9)に比べ0.2ポイント低く、UPSHOWAの利用が進展したとはいえ、まだ十分とは言えない状況にある。本学科の場合、資格関連の必修科目が多く、シラバスを確認せずともおおその内容を学生側が理解しているということも考えられる。また、参考資料・図書の充実についても全体平均並みではあるが、決して高い評価を得ているとは言えない。これらについて、学科教務によるガイダンスで意識的に触れるほか、常勤非常勤を問わず授業担当教員にはたらしかけていく必要がある。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価(全般的な評価、上手いところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。)

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.7      | 0        | 0          | 1              | 18         | 102            | 27  | [学生]<br>問1(シラバスの事前確認)および問2(授業に対する積極性)の項目は、今期の全体平均に比べてやや低い。しかし、平成23年度前期(あるいは前年度まで)の評価と比べると、問1については0.2ポイント、問2については0.1ポイント高くなっている。この点について、授業担当者の努力を評価したい。前年度までと同様、資格関連の演習・実習科目、卒論ゼミ、30名前後の講義科目について、学生の積極性・主体性がうかがえる。受講者が多人数の講義科目については平均並みの評価である。もっとも改善を要すると思われる科目は国家試験対策講座である。講義時間外の自己学習を促しているにもかかわらず、その取り組み状況が芳しくない。資格対策教員を中心に、国家試験へのモチベーションを高め、主体的な学習ができるよう、学習の仕方等基本的な事柄を丁寧に指導していきたい。 |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 8          | 67             | 73  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 7              | 141 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 2              | 5          | 65             | 76  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 8          | 54             | 86  | [授業[内容]]<br>問5(シラバスと授業の一致)、問6(授業の内容理解)について、今期のみを見ると、全体平均を0.1ポイント下回っているが、問5については平成23年度前期の評価と比べると0.1ポイントではあるが改善が見られ、評価できる。ただし、問6については、2.5以上3以下の科目が3つ見られた。これらはいずれも医学系の科目であり、生物学や保健学の基本的な知識が不足していることが考えられる。学科履修ガイダンスにおいて、教養科目に開設されている関連科目の積極的な受講を呼び掛けたい。                                                                                                                                 |
| 6  | 3.9      | 0        | 0          | 3              | 7          | 77             | 61  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 7  | 4.0      | 0        | 0          | 4              | 5          | 69             | 70  | [授業[教え方等]]<br>問9の板書等の効果的な活用について、全体平均よりも0.2ポイント低く、前年度並みであった。評価の低い科目について見ると、坂書やPower Pointを使用していないような科目、すなわち評価の対象外科目も含まれているように思われる。これについては、正確な評価を得るためにアンケート実施時に評価項目から除外することができる旨を、授業担当者に周知する必要があると思われる。<br>問10(教材・配布資料)については、平成23年度前期に比べ0.1ポイント上昇しており、授業担当者の努力がうかがえる。                                                                                                                  |
| 8  | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 6          | 50             | 91  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 9  | 3.8      | 0        | 1          | 1              | 21         | 72             | 48  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 8          | 59             | 81  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 11 | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 5          | 36             | 107 | [環境・設備等]<br>資格関連の演習・実習科目と30人前後の講義科目が多いためか、授業環境についての満足度(問11)は高い。適切な授業環境の整備は、積極的かつ効果的な学習の保障に関連すると思われるので、これを維持したい。問12(図書館の充実)については、学科の資料室が充実している(特に雑誌類)ことからかえって図書館に足が向かないことも考えられるため継続指導したい。                                                                                                                                                                                             |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 33         | 85             | 30  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

### 3. 今後の方針

基本的には平成 23 年度前期の方針を踏襲する。

つまり、第 1 点目は、UPSHOWA などのシステムの充実と活用およびこれによる学生・教員間の相互理解の促進である。

第 2 点目は、履修登録前の教務ガイダンスの内容工夫である。資格関連の必修・選択必修、あるいはコース必修・選択必修科目による機械的な履修を防ぐため、それぞれの科目(群)の意義について学生が理解できるようガイダンスを行う。

第 3 点目は、第 2 点目と関連するが、資格ごとあるいはコース内における各科目担当者の連絡を密にすることである。これにより体系的な学習が可能となるよう工夫する。現在は学科長と教務部委員がシラバスの点検を行っているが、各コースの主任や実習室長に協力を仰ぎ、授業内容を精査することが望まれる。

## 1. 概評

これまでも学生自身への評価は改善されてきたが、今年度後期は特に改善が目立っている。これは近年シラバスの作成が改善されたこと及び教員全体の努力によるものだと思う。今後もぜひ維持し、さらに改善するように求めていきたい。全体的にみて0.1ポイント下がっている項目が目立って多い。特に、教員への評価は改善できるよう心がけ、教え方の改善については今後の課題としてさらに取り組む必要があると考えている。学習環境の改善にはクラスの人数もかかわってくるが、昨年度よりクラスの人数が増えている傾向がある。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価(全般的な評価、上手くいったところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。)

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                              |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.9      | 0        | 0          | 1              | 18         | 54             | 50  | [学生]<br>1(シラバス内容の事前確認)は、前年度同期より0.1ポイント高い。学生のシラバス確認が改善されていることは教員全体が受講生にシラバスの確認を強く求めるようになったことと関係があると思う。<br>2(授業への取り組み)は、前年度同期より0.1ポイント低い。<br>3(出席状況の自己評価)も前年度同期より0.1ポイント低い。<br>4(授業外での学習)は、前年度同期より、0.4ポイント高い。学生の自己評価は全体的によいという表れである。 |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 4          | 53             | 66  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 11             | 112 |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 9          | 38             | 75  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5  | 4.0      | 1        | 0          | 1              | 2          | 48             | 71  | [授業[内容]]<br>5(授業はシラバスに沿っているか)は前年度同期より0.1ポイント低い。<br>6(授業内容の理解)前年度同期より0.1ポイント低い。                                                                                                                                                     |
| 6  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 9          | 44             | 69  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 7  | 4.1      | 0        | 1          | 0              | 7          | 36             | 79  | [授業[教え方等]]<br>7(説明の明快さ)、8(話はよく聞き取れたか)、9(板書、パワーポイント)はいずれも前年度同期より0.1ポイント低い。<br>10(配布資料、材料等の効果)は前年度同期と同じである。<br>0.1ポイント減の項目が目立って多い。<br>授業の教え方については、今後の重要な課題として取り組む必要があると考えている。                                                        |
| 8  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 6          | 23             | 94  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 9  | 4.0      | 0        | 1          | 1              | 9          | 43             | 63  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 10 | 4.1      | 0        | 0          | 2              | 2          | 39             | 80  |                                                                                                                                                                                                                                    |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 4          | 27             | 92  | [環境・設備等]<br>11(学習環境)は前年度同期より0.1ポイント下がっている。これはクラスの人数が増えていることとも関係があるのだろうか。<br>12(参考書等の図書館での整備)は前年度同期より0.1ポイント上がっているが、改善の余地があると思う。                                                                                                    |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 1              | 16         | 65             | 41  |                                                                                                                                                                                                                                    |

### 3. 今後の方針

- ☆ シラバスの内容を受講前に確認せず、科目名だけを見て時間割に合わせて履修に臨んでいる学生が依然として多いようだが、今後は新年度の教務オリエンテーションや教員それぞれの授業でもシラバスの受講前確認をさらに促すよう心がけていきたい。
- ☆ 学生の授業外での自主的な学習は、アンケートの回答から見て改善されているようだ。それは近年実施されてきたシラバスでの授業準備の指示による効果ではないかと考えているが、先生方にはそれぞれの授業で学生の授業外での自主的な学習をさらに勧めるよう工夫を続けていただきたい。
- ☆ 学生の出席状況への評価、教員の教え方、学習環境など、全体的にみて改善を求められる項目が多い。今後も引き続き、学生の指導と教員の努力を促していきたい。参考書等の図書館での整備などについても引き続き改善に努める必要があると考えている。

## 1. 概評

ポイントの微動はあっても、評価は高めで安定している。この状態を維持することに努めていく。  
 キャリアに直接結びつく初等教育学科の学修内容への意識は高く、地道に積極的な努力を積み重ねている学生が多い。気になるのは、一部の項目（問6～問10）に、今までになかった極端に低いポイントを付けた学生がいることである。原因を特定し、改善に努めたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 4          | 28             | 72  | [学生]<br>授業前のシラバス確認、授業への取り組み（積極性や出席状況）、授業外学習、すべての項目について高ポイントを維持している。4つのうち一番ポイントが低いのはシラバス確認だが、すでに履修が決まっている必修科目について、事前に興味を持ってシラバスを確認させるには、どのような工夫が可能なか、検討したい。                                                                                                |
| 2  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 22             | 82  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3  | 4.5      | 0        | 0          | 0              | 0          | 0              | 104 |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 4  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 2          | 21             | 81  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5  | 4.2      | 0        | 0          | 2              | 1          | 25             | 76  | [授業[内容]]<br>この項目も高ポイントを維持している。シラバスに沿った授業の実施については、多少のばらつきはあるが、概ね実行されていると考えてよいようである。授業内容の理解については、わずかながらこれまでなかった大変低いポイントの評価が現れた。個別の結果をみると、一部の教科目に極端に低い評価が集中している。対応を検討し、改善に努めたい。                                                                              |
| 6  | 4.1      | 0        | 2          | 0              | 4          | 27             | 71  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7  | 4.2      | 2        | 0          | 0              | 3          | 23             | 76  | [授業[教え方等]]<br>平均値はほぼ横ばいのまま高水準を保っているが、説明の明快さ、話の聞き取りやすさ、板書等の効果について、極端に低い評価が現れ、気になるところである。可能な範囲で授業担当者の理解と協力を得て、改善していきたい。<br>なお、これは前回も記したが、学部共通科目（人間社会学概論）は、専門外の科目の基本的な考え方を理解することがまずむずかしく、難解であると感じる学生が多いようである。それぞれの学科の必修科目の場合もあり、内容の工夫には限界があるが、何らかの対応が必要と考える。 |
| 8  | 4.2      | 2        | 0          | 0              | 5          | 13             | 84  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 9  | 4.1      | 2        | 0          | 0              | 9          | 20             | 71  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 10 | 4.2      | 0        | 2          | 0              | 4          | 20             | 77  |                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 2          | 26             | 75  | [環境・設備等]<br>学習環境についてはわずかに評価が上がったが、教室の環境がよいとは言えないことは変わっていない。機器設備が少しずつ改善されていることには感謝したい。<br>参考図書についても、今少し充実させたいことに変わりはない。とくに不足していると思われる、保育・教育の現場で用いられる子どもの本を整えていくことに力を入れたい。                                                                                  |
| 12 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 13         | 42             | 49  |                                                                                                                                                                                                                                                           |

### 3. 今後の方針

授業評価については、おおむね良好な状態を維持しているが、高めとはいえ、横ばいのままのポイントを、さらにどのような工夫で引き上げることができるのか、再検討の時期に来ているともいえる。学科としては今後とも、学生の希望に応じた多様な学習機会を提供していくよう心がける。

学科の特性上、明確な目標のもとに高い職業志向性を持ち、地道に着実な努力を重ねている学生が多いが、子どもをめぐる社会的・制度的な変化を前に、進路に迷う学生たちへの対応が、大きな課題である。

カリキュラムについては、引き続き現行のものの微調整を行い、学生がよりストレスなく、自分の履修したい科目を履修できるよう改善していきたい。

施設面については、教室環境の改善(一部の授業における過密状態の緩和)がなにより望まれるが、大学施設全体の問題でもあり、学科での努力だけではいかんともしがたいところである。図書館との連携による図書資料のさらなる充実も引き続き求められる。さらに、より効果的な資料や機器の使用、特に教育現場で実際に用いられている機器の有効な活用についても、検討に努めたい。

学生生活の様々な面でのケアについては、クラスアドバイザー中心に学科教員全員で学生についての情報を共有しながら緻密に行っているが、今後も、個々の学生に応じたきめ細やかなケアを心がけていく。

## 1. 概評

全体と学科平均の比較では、残念ながら全ての項目において学科が大学全体を下回る結果となった。しかし H22 後期の学科平均値と比較すると「授業外での学習」「参考図書の図書館整備」の項目のポイント数が僅かながら上がっている。一方で「説明の明快さ」「話がよく聞き取れたか」という設問では 0.1 ポイントではあるが昨年度後期より評価が下がる結果となった。（ちなみにこの 2 つの項目は今年度前期と比較すると評価が上がっている。）全体として今学期についてはこれまでと大きな変化が無かったと考えられるが、僅かながら評価の下がった項目が教え方に関係する項目であることは学科として注意すべき事項である。また科目の種類毎の傾向を見ると、講義科目に比べて演習科目・理数系科目では科目間の評価差が大きい。評価の高い科目の授業運営上の工夫なども参考にしていきたい。参考図書の整備については昨年度同様評価が低く、引き続き各授業で図書館利用アドバイスなどを行っていきたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科平均 | 1 ≤<br><2 | 2 ≤<br><2.5 | 2.5 ≤<br><3 | 3 ≤<br><3.5 | 3.5 ≤<br><4 | 4 ≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.8  | 0         | 0           | 5           | 11          | 102         | 39  | <p>[学生]</p> <p>昨年度後期と比較すると、問 1～3 の学科平均は同等の評価である。しかも 4 設問とも 3.5 以上の評価を回答する科目が増えている。（問 1:シラバスの確認で、平均値 3 を下回る科目が 5 科目となっているがこれらには複数教員担当科目が 2 科目含まれるため実質は 3 科目である。）</p> <p>また概評でも触れたが、「授業外での学習」項目が昨年度後期に比べると 0.2 ポイント上昇している。さらに 54%の科目が 4 以上の評価である。今後もこのレベルを保持していくためには、学生が積極的に授業外学習に取り組むような工夫（課題、注意喚起）を継続する必要がある。</p> <p>学生の授業態度に関する設問の中では、シラバスの確認のみが 3 点台である。日頃から授業内でシラバスについても触れることが必要であると考え。</p> |
| 2  | 4.0  | 0         | 0           | 0           | 7           | 77          | 73  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 3  | 4.1  | 0         | 0           | 0           | 6           | 52          | 99  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4  | 4.0  | 0         | 0           | 1           | 13          | 58          | 85  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 5  | 3.9  | 0         | 0           | 0           | 8           | 86          | 63  | <p>[授業[内容]]</p> <p>授業に関する 2 つの設問では、2 問とも大学全体平均を 0.1 ポイント下回る値となった。昨年度後期の学科平均とは同じ値である。しかし、いずれの設問でも評価 4 以上の回答が全科目数の 4 割以上を占め、この比率は昨年度より増えている。問 1（シラバスの確認）とも関連して、授業内でシラバスの内容に触れていくことも必要であろう。</p>                                                                                                                                                                                                   |
| 6  | 3.9  | 0         | 0           | 2           | 22          | 66          | 67  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 7  | 3.9  | 0         | 0           | 3           | 14          | 68          | 72  | <p>[授業[教え方等]]</p> <p>問 7（説明が明快か）と問 8（話がよく聞き取れたか）において、昨年度後期を 0.1 ポイントずつ下回る結果となった。問 7 と問 9 において評価 3 を下回る科目が計 5 科目あるが、これらの中には講義科目、演習科目、PC 科目がそれぞれ含まれ、明確な傾向をよみとることはできなかった。ただこれらの科目は教え方全ての設問において評価が低い傾向があり、説明が聞き取れない・明快とは感じられないことが授業内容理解できないことに繋がっていると考えられる。視聴覚機器の有効利用や UP SHOWA の利用など授業運営に工夫を促していきたい。</p>                                                                                          |
| 8  | 4.0  | 0         | 0           | 0           | 14          | 61          | 82  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 9  | 3.9  | 0         | 0           | 2           | 17          | 67          | 71  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 10 | 3.9  | 0         | 0           | 0           | 32          | 66          | 59  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 11 | 4.0  | 0         | 1           | 0           | 10          | 62          | 84  | <p>[環境・設備等]</p> <p>学習環境に関する設問では、昨年度後期を 0.1 ポイント下回る結果となった。評価 2.5 未満が 1 科目あるが、この科目は卒業研究ゼミ演習科目であり、他の設問では非常に高い評価を得ている科目であることから今後の推移を見守りたい。また関連図書の図書館への整備状況では昨年度より 0.1 ポイント評価を上げることができた。</p>                                                                                                                                                                                                        |
| 12 | 3.6  | 0         | 0           | 1           | 58          | 81          | 17  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

### 3. 今後の方針

学科平均に関して、昨年度後期に比べて今学期は僅かながら評価が下がった設問が複数あった。しかしそれらの中には、科目数の分布で高評価の率が増えている設問もあった。これはつまり、科目間の評価差が(若干)広がっているのではないかと考えられる。評価を下げた科目については、他の教員の授業運営を参考にする等さらなる工夫が必要であると考ええる。また全学的に視聴覚設備を整備した教室が増えていることから、こうした機器類を積極的に使用した授業運営も望まれる。

また問 1 と問 5、シラバスに関連する設問の評価が他に比べて低めである。本学科の特徴として演習科目が多いので授業計画が難しい場合もあるが、授業内容を保証する意味でもシラバスの参照、充実をはかっていきたい。

図書館の利用、関連図書の充実については(これまでも毎学期述べてきたことだが)、継続して拡充をはかっていきたい。特に今後は教員による図書の推薦を積極的に行っていきたいと考えている。

## 1. 概評

本学科の主な学生は 1-3 年生であり、専門科目の選択科目は少数であり、科目のほとんどが資格必修もしくは領域必修科目となっており、学生による授業科目選択の余地は大きくない。この事が授業評価にも表れていると考えられる。

〔学生〕 シラバスの確認は、前年度に比べ若干改善したが、評価は低い。これは多くの授業が資格・領域必修であるため、選択の余地がほとんど無い事が影響していると思われる。授業外の学習については大きく改善している。これは、質問項目に、レポートや課題を含む、とした事が大きく影響していると考えられる。

〔授業〕 全体的に平均的な評価であったが、基礎科目群や低学年の専門科目群の一部で若干低い評価が認められた。また、科目によっては評価が二分化する傾向が認められた。来年度一部の科目で進度別クラスを導入する予定である。

〔環境・設備等〕 教室などの学習環境の評価は平均的であるが、参考書等についての評価は低かったため、一層の充実が望まれる。また、一部の授業で教室環境の評価が低かった。これは一部学年での学生数が多いため、教室の収容人数に余裕が無くなっていたものと考えられる。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手いところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.7      | 0        | 0          | 0              | 11         | 37             | 20 | 〔学生〕<br>シラバスの確認についての評価に改善が認められたが、若干低い。これは授業がほとんど資格もしくは領域必修であり、クラス分けされた時間割に従って履修しているため、確認の必要性を感じないためであると思われる。授業への出席についての評価は高く、生活の規則性が保たれていると考えられる。授業外の学習については昨年度と比べて大きく改善している。これは、実験・実習科目での評価が高く、講義科目での評価が低い傾向にある事から、質問項目に、レポートや課題を含む、とした事が大きく影響していると考えられる。さらに、授業内でのレポート作成時における関連情報探索などに対する考え方や方法についての情報提供なども進める必要があると考えられる。 |
| 2  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 2          | 16             | 50 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3  | 4.5      | 0        | 0          | 0              | 0          | 1              | 67 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 7          | 21             | 40 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 5  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 7          | 28             | 33 | 〔授業〔内容〕〕<br>全体的には平均的な評価であった。授業内容の理解については、特に基礎的な科目群において低評価となる傾向が認められた。また、科目によっては評価が二分化する傾向が認められた。来年度一部の科目で進度別クラスを導入する予定である。                                                                                                                                                                                                  |
| 6  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 11         | 20             | 37 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 7  | 4.0      | 0        | 0          | 2              | 9          | 16             | 41 | 〔授業〔教え方等〕〕<br>全体に平均的な評価であった。選択の余地が少ない中であるが、授業への意識が維持されていると考えられる。今後はさらに、授業に対する意識の維持増進を図る必要があると考えられる。                                                                                                                                                                                                                         |
| 8  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 9          | 12             | 47 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 9  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 12         | 14             | 39 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 10 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 7          | 26             | 35 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 1          | 20             | 46 | 〔環境・設備等〕<br>教室設備についての評価は平均的であった。一部の授業で低評価が認められる。これは 2 年生の学生数が多い事から生じた可能性がある。参考資料については不十分な部分もあり、充実が望まれる。                                                                                                                                                                                                                     |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 10         | 39             | 19 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

### 3. 今後の方針

本学科では資格関連科目が多く、またクラスごとに履修が同じである科目が多いことから、学生はシラバス等を確認せずに、授業に参加する傾向が強いと考えられる。授業に対する取組や出席状況は積極的であり、高評価である。これに対し、授業外の外での学習では、レポートや課題が課されない授業で低い傾向にある。今後、資格必修科目・選択科目共に、授業への積極的な関与と自主的な学習意欲の形成を行うため、将来設計を含めた情報の提供を継続して進め、評価の向上に努力する。また、基礎系科目・資格基礎系科目等の授業関連の評価が、やや低い傾向にあることから、進度別クラスの導入を一部の授業で導入する。今後も、学生の学習意欲の向上をさせる支援方法、環境整備などを学科内の教員個人のみでなく、カリキュラムグループ等を利用して検討していく。

## 1. 概評

本専攻の学生は全て 4 年生であり、後期科目は本年度で終了の予定である。また多くの科目が健康デザイン学科の科目によっているため、健康デザイン学科学生を含んだ評価となっている。

〔学生〕 シラバス確認の評価は低い。これに対し授業への積極性や出席についての評価は高く、選択授業の特徴が表れていると考えられる。

〔授業〕 全体的には、平均よりやや高い評価であった。特に 4 年生開講科目について高い評価となる傾向にあった。

〔環境・設備等〕 教室設備についてはやや高い評価であった。これは選択授業であったことから、教室の収容人数に余裕があった為であると考えられる。参考資料については不十分な部分もあり、充実が望まれる。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                     |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.6      | 1        | 1          | 2              | 1          | 14             | 11 | 〔学生〕<br>昨年同様シラバスの確認の評価は低い。授業への出席についての評価は高く、生活の規則性が保たれていると考えられる。授業外の学習については昨年度と比べて大きく改善している。これは、実験・実習科目での評価が高く、講義科目での評価が低い傾向にあることから、質問項目に、レポートや課題を含む、とした事が大きく影響していると考えられる。 |
| 2  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 0          | 6              | 24 |                                                                                                                                                                           |
| 3  | 4.4      | 0        | 0          | 0              | 0          | 2              | 28 |                                                                                                                                                                           |
| 4  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 0          | 9              | 21 |                                                                                                                                                                           |
| 5  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 4          | 10             | 16 | 〔授業〔内容〕〕<br>全体的には平均的な評価であった。食物健康学専攻の学生のみが履修可能な 4 年生科目は全て選択科目であり、評価は高い傾向にあった。これに対し、健康デザイン学科科目には、資格必修・領域必修科目が含まれ、評価は若干下がる傾向にある。                                             |
| 6  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 1          | 6              | 23 |                                                                                                                                                                           |
| 7  | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 1          | 7              | 21 | 〔授業〔教え方等〕〕<br>全体に平均的よりやや高い評価であった。選択科目の評価が若干高い傾向にあった。                                                                                                                      |
| 8  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 1          | 3              | 26 |                                                                                                                                                                           |
| 9  | 4.1      | 0        | 0          | 1              | 2          | 6              | 19 |                                                                                                                                                                           |
| 10 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 1          | 9              | 20 |                                                                                                                                                                           |
| 11 | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 9              | 21 | 〔環境・設備等〕<br>教室設備についてはやや高い評価であった。これは選択授業であったことから、教室の収容人数に余裕があった為であると考えられる。参考資料については不十分な部分もあり、充実が望まれる。                                                                      |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 5          | 19             | 6  |                                                                                                                                                                           |

### 3. 今後の方針

生活科学科食物健康学専攻後期の科目群は今期で終了の予定である事から、今後の方針は特にない。

## 1. 概評

概ね、前年度と同様な評価がなされている。資格必修科目が多く、ほとんど選択の余地がなく、出欠席の取り方も厳しいので、授業の出席状況の評価は高くなっている。しかし、履修する科目が学年ごとに決まっているため、シラバスの確認などをせずに授業を受講し、学内の授業での取り組み方が、良好に対して授業外での自主的な学習が例年、低いが、今年度は若干、上がってきた。さらに教員の支援などで学生自身が授業外での自主的な学習ができるようにしていきたい。また、年々、学生個々の基礎的な能力など差も大きくなってきていると思われるので、個々の能力に合わせたきめ細かい指導が重要であると考えます。

学習環境は、良好と言えるが、参考図書等については、授業外での自主的な学習を促すためにも、より一層の充実が望まれる。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいったところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                               |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.5      | 1        | 1          | 2              | 11         | 38             | 5  | [学生]<br>例年通り、事前のシラバスの確認の評価は低く、授業内容を確認せずに授業を受けている学生達が多い。資格取得のための必修科目が多いので、出席状況は例年、高い。若干ではあるが、授業外での自主的な学習の評価が高くなったことは、教員の支援や授業内外を問わず、授業に対する積極的な姿勢の表れと感じられる。さらに授業内外で十分な学習ができるよう、教員も支援の方法を検討していく。       |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 1          | 18             | 39 |                                                                                                                                                                                                     |
| 3  | 4.5      | 0        | 0          | 0              | 0          | 1              | 57 |                                                                                                                                                                                                     |
| 4  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 3          | 26             | 29 |                                                                                                                                                                                                     |
| 5  | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 7          | 30             | 21 | [授業[内容]]<br>シラバスの確認や活用があまりなされていないために、シラバスに沿った内容かどうかについては低値である。授業の内容の理解度は前年度より高くなった。管理栄養士資格取得の目的があるため、理解をしようという意欲は感じられる。ただ、年々、学生個々の能力の差が明確になってきているので、来年度からの基礎科目である化学と生物を能力別に授業を運営することになっている。         |
| 6  | 3.9      | 0        | 0          | 2              | 3          | 29             | 24 |                                                                                                                                                                                                     |
| 7  | 3.9      | 0        | 1          | 1              | 5          | 26             | 25 | [授業[教え方等]]<br>例年通りの評価である。教え方の評価には、受講者数と教室の広さや視聴覚設備の有無や使い方にも影響がある。視聴覚設備が揃っていない所は、設問8や9の評価が低い。そのような中でも授業内容により興味を持たせ、理解を深めさせるような教え方を教員各自が検討していく。                                                       |
| 8  | 3.9      | 0        | 1          | 2              | 3          | 20             | 32 |                                                                                                                                                                                                     |
| 9  | 3.9      | 0        | 1          | 1              | 4          | 16             | 36 |                                                                                                                                                                                                     |
| 10 | 3.9      | 0        | 0          | 2              | 1          | 19             | 36 |                                                                                                                                                                                                     |
| 11 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 3          | 19             | 36 | [環境・設備等]<br>学習環境については、若干、低い値となった。「教え方等」でも記載したが、受講者数と教室の広さ等で評価が低い学年もある。さらに改善をもとめて関係部署との検討を進めていく。図書館には専門書が整っているが、専門領域によっては専門書が十分でないという評価している。また、専門書があっても新刊書ではない場合もあるので、より新しい図書の希望を教員から出し、内容の充実を図っていく。 |
| 12 | 3.7      | 0        | 0          | 0              | 11         | 38             | 9  |                                                                                                                                                                                                     |

### 3. 今後の方針

栄養士養成施設であるので、決められているカリキュラムを大幅に逸脱することはできないので、学生自身もシラバスを確認することなく、授業に臨んでいることは常に予想されている。授業に対する取り組み方として出席率が高いことは評価されることであるが、出席している事が積極的に取り組んでいると思わないよう、学生には指導していくことが重要である。近年、入学生の基礎力の低下が問題となっている。また、卒業後に管理栄養士の国家試験に合格できる能力を4年間で身につけるためには、基礎力が大いに必要となる。そのため、来年度から基礎科目である化学と生物の授業を能力別に行うことにした。そのことにより、学生たちが決められているカリキュラムの中でも授業内外で自主的に学習を行う意欲を持ち、管理栄養士として知識と技術の能力を身につける事ができることを期待したい。今後も、学習意欲の向上をさせる支援方法、環境整備など学科内のカリキュラムグループごとに話しあい、科会で意見を出し合い、学生及び教職員共に成長していくように考えていく。

## 1. 概評

文化創造学科では、就職と編入を希望する学科ごとにクラス分けをしている。就職や編入する学科ごとに履修する専門科目が自然と重なってくるため、シラバスの確認などをクラス内で行いやすい。また、少人数クラスを実施しているため、授業が聞き取りにくいなどの問題が解消されている。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                    |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 5          | 35             | 60 | [学生]<br>ほとんどの学生がシラバスを確認し、授業に積極的に取り組んだという回答をしている。ただ、積極性については、まだ学生に不十分さがみられるため、より授業外での課題を多く与え、授業内でも学生が課題に積極的に取り組むことができるような工夫を、それぞれの教員が行っていくとよいと思われる。出席状況については、一部の学生を除き、概ねよく出席しているという回答である。 |
| 2  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 2          | 35             | 63 |                                                                                                                                                                                          |
| 3  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 1          | 14             | 85 |                                                                                                                                                                                          |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 1              | 8          | 30             | 61 |                                                                                                                                                                                          |
| 5  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 3          | 29             | 68 | [授業[内容]]<br>全体として、シラバスに沿って授業が行われているという評価であり、授業内容についてもよく理解できているようである。さらに理解度が高まるように、シラバスのさらなる改善に努め、授業の見直しを継続して行っていく。                                                                       |
| 6  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 5          | 32             | 63 |                                                                                                                                                                                          |
| 7  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 9          | 28             | 63 | [授業[教え方等]]<br>説明の明快さ、聞き取りやすさ、配布資料や教材の適切さは、全体的に平均～良い評価となっている。ただし、板書や OHP などの活用については、やや低い評価が見られる。教員がより効果的に黒板や資料を作成するよう努力するとともに、学生にもノートの取り方を指導するなどして、改善を図っていきたい。                            |
| 8  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 6          | 15             | 79 |                                                                                                                                                                                          |
| 9  | 4.0      | 0        | 0          | 2              | 6          | 34             | 58 |                                                                                                                                                                                          |
| 10 | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 10         | 26             | 64 |                                                                                                                                                                                          |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 3          | 21             | 76 | [環境・設備等]<br>教室の広さについては、概ね平均的な評価であるが、大人数の授業などでは、可能な限り教室変更をするなどしているためと思われる。これからは環境の改善を図っていきたい。図書の資料については、学科でも学習図書を揃えたり、図書館にも推薦図書を積極的にお願ひし、また図書館の利用を促すなどしていく。                               |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 1              | 9          | 56             | 33 |                                                                                                                                                                                          |

### 3. 今後の方針

概ね全体の平均かそれ以上の良い評価となっているが、学生の評価を真摯に受け止め、さらなる改善を図るように意識を持って取り組みたい。また、教員に呼びかけて、自由記述欄の活用を促していきたい。シラバスの確認については、高校までシラバスを見る習慣がなく、大学に入ってから初めてシラバスというものがあることを知るため、シラバスの意味を説明し、その重要性を理解させる必要があると考える。それにより、シラバスをもっと確認するよう、学生を促していきたい。

## 1. 概評

全体の評価の平均値は 4.03 で、前回比+0.06 と、おおむね良好と言えよう。出席状況に関する項目3(前回 4.5 ⇒今回 4.3)以外は、どの項目の値も、前回は下回るものはなかった。12の項目のうち、4.0 以上の項目は9つあった。授業の内容・質を問う項目である7～10は平均 4.1 と、かなり高い評価を得ているが、これに安心することなく、なお一層の講義の充実を図っていききたい。講義の質を計る重要な要素の一つである自主学習ができていないか否かを問う項目4の値は、前回と同じ 3.9 で、他の項目に比べやや低い値である。自主性は、大学の勉学における大切なファクターであるので、今後とも改善を図っていききたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価(全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。)

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                 |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 3          | 81             | 72  | [学生]<br>項目1～4の平均値は 4.03。項目1(シラバスの内容を受講前に確認したか)は、一般教養科目が選択科目である割には、数値が低く、やや気がかりである。出席状況を問う項目3が、前回は 0.2 下回ったが、数値としては 4.3 で相変わらず高い値である。また、自主的な学習を問う項目4の値は、授業の質の保証とも強く関連しており、今後も準備学習の充実などを図ることで、学生の学習における自主性を高めていきたい。     |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 5          | 79             | 72  |                                                                                                                                                                                                                       |
| 3  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 27             | 129 |                                                                                                                                                                                                                       |
| 4  | 3.9      | 0        | 0          | 2              | 17         | 76             | 61  |                                                                                                                                                                                                                       |
| 5  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 2          | 41             | 113 | [授業[内容]]<br>項目5、6の平均値は 4.05。評価分布に関しては、いずれの項目も 4≤の占める割合が一番高い。特に項目5は 4≤が全体の72%を占める。この数値は、学生がある程度講義内容に満足していることを示していると考えよう。                                                                                               |
| 6  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 10         | 69             | 77  |                                                                                                                                                                                                                       |
| 7  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 8          | 65             | 83  | [授業[教え方等]]<br>項目7～10の平均値は 4.10。すべての数値が 4 以上。評価分布もすべての項目で 4≤の割合が一番高い。項目8に関しては、4≤が全体の 71%を占める。これらの数値から、学生が講義内容や講義方法にある程度満足していることが窺える。このかなり良い学生の評価と、学生の理解度になす教員の評価とは、一致しているのかどうか、気になるところである。いずれにしても、今後も一層の講義の改良、工夫が望まれる。 |
| 8  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 4          | 41             | 111 |                                                                                                                                                                                                                       |
| 9  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 11         | 63             | 82  |                                                                                                                                                                                                                       |
| 10 | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 5          | 60             | 91  |                                                                                                                                                                                                                       |
| 11 | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 5          | 68             | 83  | [環境・設備等]<br>項目11、12の平均値は 3.9 で、前回は 0.15 上回った。参考図書に関する項目は前回比+0.2 で、3.8 になっているが、依然全体の中で一番低い値である。引き続き、図書館の参考図書の充実を常勤教員、非常勤教員の別なく、訴えていきたい。                                                                                |
| 12 | 3.8      | 0        | 0          | 0              | 27         | 108            | 21  |                                                                                                                                                                                                                       |

### 3. 今後の方針

- ・専門学科との意思疎通をなお一層密にし、カリキュラムの改良・充実を目指して、短期、長期の両面から、カリキュラム編成に取り組んでいきたい。
- ・シラバスが科目選択のほぼ唯一の手引きであるので、学生がより適確な科目選択を行えるように、シラバスの一層の整備、充実を図りたい。
- ・平成24年度より一般教養科目の分類が3分野から6分野に変わり、この新しい科目分類を視覚化した「知の羅針盤」を作成したが、これらが学生の履修行動にどのような影響を及ぼすか、注視していきたい。

## 1. 概評

昨年度後期とくらべると、設問 07, 08, 09 (現状維持) をのぞき、すべて数値が改善している。ただし、今年度前期とくらべると、設問 03, 05, 10 で 0.1 ポイント数値をおとしている。穏当なところであろうが、今後とも授業改善につながるよう、工夫をこころみたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっところと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤  | 評価と対策                                                                                                                                          |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 3.7      | 0        | 0          | 7              | 50         | 78             | 42  | [学生]<br>演習科目であるため、設問 04 は、他の教科目とくらべて、比較的たかい数値がでたものとおもわれる。現状では、学生がわの対応に大きな変化がでるとはかんがえにくい、今後とも FD を学生たちに PR していく。                                |
| 2  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 3          | 74             | 100 |                                                                                                                                                |
| 3  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 1          | 19             | 157 |                                                                                                                                                |
| 4  | 4.0      | 0        | 0          | 0              | 7          | 83             | 87  |                                                                                                                                                |
| 5  | 3.9      | 0        | 0          | 0              | 13         | 83             | 81  | [授業[内容]]<br>外国語は演習科目なので、教科書の目次がシラバスのようなものである。設問 05 はおおむね良好な数値がでるものと思われる。                                                                       |
| 6  | 3.9      | 0        | 0          | 1              | 27         | 82             | 67  |                                                                                                                                                |
| 7  | 4.0      | 0        | 0          | 5              | 15         | 47             | 110 | [授業[教え方等]]<br>設問 10 が今年度前期比-0.1 ポイント(昨年度とおなじ)。一歩前進二歩後退といったところである。特に問題があるとはおもえないものの、教員のおしえかたは、不断の改善が必要とされるので、今後とも、ひきつづき教員のみなさんに、FD にとりくむよう要請する。 |
| 8  | 4.1      | 0        | 1          | 1              | 12         | 43             | 120 |                                                                                                                                                |
| 9  | 3.9      | 0        | 0          | 2              | 27         | 63             | 85  |                                                                                                                                                |
| 10 | 3.9      | 0        | 0          | 1              | 17         | 66             | 93  |                                                                                                                                                |
| 11 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 1          | 37             | 139 | [環境・設備等]<br>PR が奏功したのか、参考図書存在に気づいた学生がふえたようである。数値にはあらわれていないが、学習環境という点で、教室のさむさに不満な学生が目についた。節電の必要もあるため、難しいところである。                                 |
| 12 | 3.7      | 0        | 0          | 0              | 43         | 104            | 29  |                                                                                                                                                |

### 3. 今後の方針

おおむね現状維持といったところである。ここ数年懸案だったクラスの受講人数を適正にたもつ問題は、2012 年度から成果があらわれるはずである。2012 年度から WEB 抽選登録を導入するにあたり、現状の把握・分析につとめ、学生の学習意欲をひきだすようにつとめたい。

## 1. 概評

本アンケートの 12 の設問項目は、異なる四つのカテゴリーから構成されており、それを一括して単純平均値（総合平均値）を導くことには、大きな意味はもたないものの、時間的変化の傾向性を掴むために計算をしている。その結果、この 3 年間は 2009 年度前期:4.1, 後期:4.2 弱, 2010 年度前期:4.1, 後期:4.1 弱, 2011 年度前期:4.3 弱, 後期(今期):4.25 となり、ほぼ 4.2 弱レベルで推移している。今年度は微増の傾向が見られ、一応の満足を得られるものと受け止めている。数値で達成目標を示すならば、「より高い数値を」とはなるが、微増を継続することでの達成でよいと考える。ただ、数値を下げる主たる要因が 2～3 人の教員の担当科目の評価によることが明らかになり、今後改善を図らなければならないのだが、その対策は簡単ではない。授業公開の活用なども含めて、検討を進めていきたい。

## 2. 各項目の評価

各項目の科目ごとの評価（全般的な評価、上手くいっただと問題点の整理、高い点数、低い点数の科目の長所と問題点の整理等。前年度までとの比較で記述する。）

| no | 学科<br>平均 | 1≤<br><2 | 2≤<br><2.5 | 2.5<br>≤<br><3 | 3≤<br><3.5 | 3.5<br>≤<br><4 | 4≤ | 評価と対策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----|----------|----------|------------|----------------|------------|----------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 0          | 7              | 22 | <p>[学生]</p> <p>「授業外での自主的な学習」のスコアは、前期同様に 4.2 であったが、3.5 未満が 1 人から 3 人へと増え、3 未満が 1 人あったことには留意したい。数値では実際の学習の内容は窺えないが、傾向としては評価できる。</p> <p>「出席状況」評価は、前期同様全員が 4 以上であった。本学独自の恪勤賞等の影響によるところが大であるが、理由の如何に拘わらず、出席率が高いことは良いことである。また、このアンケートでは分からないことだが、1 限の科目での遅刻の減少が見られることも良い傾向である。</p> <p>シラバスに「事前学習」の指示を記すなど改善を続けていることは、プラスに反映されていると考えられる。「項目 5」の結果と併せて考えれば、授業のジャイロスコープでもあるシラバスは、毎年手を加え、改訂する努力が必要になる。</p> <p>いずれにしろ、学生に自己評価は妥当なものであった。</p>                     |
| 2  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 3              | 26 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3  | 4.6      | 0        | 0          | 0              | 0          | 0              | 29 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 4  | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 2          | 2              | 24 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 2              | 27 | <p>[授業[内容]]</p> <p>一方向的な一斉授業であれ、参加型授業で白熱した場面の多い授業であれ、各セメスターに学生と契約した内容が実現し、何よりも「授業内容が理解できる」ことが大前提条件である。この結果に甘んじることをしてはならないが、前期に非常に低い結果が示されたものの改善もなされており、一応の満足をすることができたものであった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 6  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 0          | 5              | 24 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 7  | 4.2      | 0        | 0          | 1              | 3          | 1              | 24 | <p>[授業[教え方等]]</p> <p>前期は、「項目 8、9、10」に 2.5 未満の回答がそれぞれ 1 人ずつあり、改善を目指したが、今期も相対的には低いスコアではあったものの、ほぼ 3≤・&gt;3 レベルには改善された。もう一段階上に上がれるように、引き続き努力を重ねていきたい。</p> <p>前期は、学生の自己評価は高く、学習意欲は乏しくないが、教員への授業評価が極端に低いもので、この科目についての授業評価は上昇した。今期はそれとは別に、学生の自己評価も「出席状況」を除いて 3.6 程度で低く、授業評価も同様に低レベルの科目（同一教員担当）が見られた。授業公開などから得られた情報なども含めて考えると、ICT への過度の依存は、必ずしも歓迎されないことが指摘できる。また、一人ひとりにどのように向き合い・応じていくかも重要である。</p> <p>学生への迎合はしてはならず、教員の姿勢を貫くべきだが、学生が求め・期待するのは丁寧な配慮が必要である。</p> |
| 8  | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 1          | 4              | 24 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9  | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 1          | 5              | 23 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 10 | 4.2      | 0        | 0          | 0              | 2          | 5              | 22 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11 | 4.3      | 0        | 0          | 0              | 0          | 4              | 25 | <p>[環境・設備等]</p> <p>図書館は大学教育の拠点であり、その充実重要である。前期と同様 4.1 の数値で、一応の満足が得られている。教員が読ませたい文献を整え、その活用法を具体的に指導することに、一層力を注いでゆく。学習環境としての教室について、暑さよりも寒さへの指摘が各教室で数人から出されている。検討し改善を図る必要があろう。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 12 | 4.1      | 0        | 0          | 0              | 0          | 9              | 20 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

### 3. 今後の方針

「概評」に記したように、教職課程の科目については「概ね良好」だと言える。アンケートは一つの手掛かりでしかないが、学生の評点を高く誘導しようとするような、意図的で姑息な働きかけは、教職課程に関しては全くない(と確信している)。結果の信頼度は高い。この状況に安住することなく、より充実した授業の構想と実践を目指していく。

教職課程の履修者は、今年度の4年生がやや少なめであったが、全体としては各学年とも「ほぼ 100 人」の規模を維持している。来年度の4年生は旧教育職員免許法が適用される最終年度となり、間もなく新法へと変更になり、教職課程の一層の充実に取り組まなければならない。私立大学の教職課程の多くがそうであるように、本学も法令上の最低人員(専任教員)で対応しており、非常勤教員に頼るところが大きい。アンケートの結果でも、非常勤教員に対する評価は高く、本務校と同じかそれ以上に学生指導に当たって頂いており、感謝したい。今期は「授業公開ウイーク」に非常勤教員にも1人加わって頂き、意義があった。こうした専任－非常勤の一体化をより図っていく。